

100歳の少年と12通の手紙 (2009)

OSCAR ET LA DAME ROSE
OSCAR AND THE LADY IN PINK

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 105分
初公開日 2010/11/06
公開情報 クロックワークス=アルバトロス・フィルム
映倫 G

【キャッチコピー】

病気と闘う少年が、10日間で100歳まで駆け抜けた人生。そこで知った生きる意味――

【解説】

「地上5センチの恋心」のエリック・＝エマニュエル・シュミット監督が、自身のベストセラー小説を映画化した感動ドラマ。白血病のために死を目前にした少年が、残されたわずかな日々を懸命に生き、自らの人生を全うする姿を切なくも心温まるタッチで綴る。出演は少年役に新人のアミール、共演にミシェル・ラロック、マックス・フォン・シドー。

白血病を患い小児病棟に入院する10歳の少年、オスカー。周りの大人たちが余命を悟られないようにと怖々接する中、偶然出会ったデリバリーピザの女主人ローズが見せた遠慮ない態度は、かえってオスカーの心を掴んだ。そんなある日、オスカーはついに自分が余命わずかであることを知ってしまう。誰とも口を利いてくれないオスカーに困り果てた病院長は、彼が唯一心を開いていたローズに話し相手になってほしいと懇願する。戸惑いつつも依頼を引き受けたローズは、短い余命に落ち込むオスカーを励まそうと、ある提案をする。それは、1日を10年と考えて日々を過ごし、その10年間の人生を毎日神様宛の手紙にしたためるといったものだった。

【クレジット】

監督	エリック・＝エマニュエル・シュミット	Eric-Emmanuel Schmitt
製作	フィリップ・ゴドー	Philippe Godeau
製作総指揮	ジャン＝イヴ・アスラン	Jean-Yves Asselin
	オリヴィエ・ローサン	Olivier Rausin
原作	エリック・＝エマニュエル・シュミット	Eric-Emmanuel Schmitt
脚本	エリック・＝エマニュエル・シュミット	Eric-Emmanuel Schmitt
撮影	ヴィルジニー・サン＝マルタン	Virginie Saint-Martin
美術	ジャン＝ジャック・ジェルノル	Jean-Jacques Gernolle
編集	フィリップ・ボーゲイユ	Philippe Bourgueil
音楽	ミシェル・ルグラン	Michel Legrand

『100歳の少年と12通の手紙』(河出書房新社刊)／旧題『神さまとお話しした12通の手紙』(PHP研究所刊)

出演	ミシェル・ラロック アミール	Michele Laroque Amir	ローズ オスカー
	マックス・フォン・シドー	Max Von Sydow	デュッセル ドルフ 医師
	アミラ・カサル	Amira Casar	ゴメット 婦長
	ミレーヌ・ドモンジョ	Mylene Demongeot	ローズの 母
	コンスタンス・ドレ	Constance Dolle	
	ジェローム・キルシェ	Jerome Kircher	
	ティエリー・ヌーヴィック	Thierry Neuvic	
	ブノワ・ブリエール	Benoit Briere	
	マチルド・ゴファール	Mathilde Goffart	
	ブルーノ・メッツガー	Bruno Metzger	
	シモーヌ＝エリース・ジラル	Simone-Elise Girard	